

新潟大学精神科専門研修プログラム

■ 専門研修プログラム名：新潟大学精神科専門研修プログラム

■ プログラム担当者氏名：須貝 拓朗

住 所：〒951-8520 新潟県新潟市中央区旭町通一番町 754

電話番号：025 - 227 - 2213 (2214)

F A X：025 - 227 - 0777

E-mail：tsugai@med.niigata-u.ac.jp

■ 専攻医の募集人数：(10) 人

■ 専攻医の募集時期：2019年 7月 1日～ 2019年 12月 31日

■ 応募方法：

履歴書を Word または PDF の形式にて、E-mail にて提出すること。

電子媒体でのデータ提出が難しい場合は、郵送にて提出すること。

・E-mail の場合：tsugai@med.niigata-u.ac.jp 宛に添付ファイル形式で送信。

その際の件名は、「専門医研修プログラムへの応募」とする。

・郵送の場合：〒951-8520 新潟県新潟市中央区旭町通一番町 754 新潟大学医歯学総合病院精神科担当 須貝拓朗宛に簡易書留にて郵送すること。また、封筒に「専攻医応募書類在中」と記載する。

◆提出期限◆

2019年 12月 31日 必着

■ 採用判定方法：

科長・総括医長が履歴書記載内容と面接結果に基づき厳正な審査を行い、採用の適否を判断する。

I 専門研修の理念と使命

1. 専門研修プログラムの理念（全プログラム共通項目）

精神科領域専門医制度は、精神医学および精神科医療の進歩に応じて、精神科医の態度・技能・知識を高め、すぐれた精神科専門医を育成し、生涯にわたる相互研鑽を図ることにより精神科医療、精神保健の向上と社会福祉に貢献し、もって国民の信頼にこたえることを理念とする。

2. 使命（全プログラム共通項目）

患者の人権を尊重し、精神・身体・社会・倫理の各方面を総合的に考慮して診断・治療する態度を涵養し、近接領域の診療科や医療スタッフと協力して、国民に良質で安全な、安心できる精神医療を提供することを使命とする。

3. 専門研修プログラムの特徴

新潟大学医歯学総合病院精神科は100年を超える歴史と伝統をもち、臨床から研究に至る幅広い領域において精神医学の発展に大きな功績を残してきた。現在も日本の精神医療を牽引する存在として幅広い領域で活躍している。

基幹病院となる新潟大学医歯学総合病院の精神科は、大学病院精神科としては規模の大きい64床を有し、閉鎖病棟、隔離室、観察室も十分なスペースを確保しており、難治例、身体合併症例などほとんどのケースに対応している。専攻医は入院患者の担当医となり、教員の指導を受けながら、看護、心理、リハビリテーション各領域のスタッフとチームを組み、各種精神疾患に対し生物学的検査・心理検査を行い、薬物療法、精神療法、修正型電気けいれん療法などの治療を柔軟に組み合わせ最善の治療を行っていく。研修の過程でほとんどの精神疾患、治療についての基礎的な知識を身につけることが可能である。

魚沼基幹病院は地域の中核病院として、救急医療や高度医療を中心とした役割を担う。指導医は1名。新潟県立精神医療センターは精神科救急病棟および児童精神科病棟を有する中核的病院である。児童思春期の症例を重点的に経験することが出来る。指導医は4名。南浜病院は新潟県北圏域の精神科救急基幹病院として位置づけられ2016年度よりスーパー救急体制での医療を行っている。指導医は3名。田宮病院も県央の精神科救急基幹病院であり、スーパー救急体制を敷いている。指導医は4名。河渡病院はアルコール依存症の治療に約50年に亘って継続して取り組んできた県内唯一の病院であり、アルコール精神科医療については地域に大きな責任を担う立場にある。指導医5名。三島病院は認知症疾患医療センターを併設しており、新潟県の認知症診療の中核を担っている。指導医は4名。佐潟荘は専門外来として思春期外来と物忘れ外来を設けており、前者では神経発達障害や引きこもり、虐待経験症例などを、後者では軽度認知障害、認知症性疾患を含む高齢者の精神疾患を扱っている。指導医は3名。

II. 専門研修施設群と研修プログラム

1. 連携施設名と各施設の特徴

A 研修基幹施設

- ・施設名：新潟大学医歯学総合病院
- ・施設形態：公的総合病院

- ・院長名：富田 善彦
- ・プログラム統括責任者氏名：染矢 俊幸
- ・指導責任者氏名：染矢 俊幸
- ・指導医人数：(8) 人
- ・精神科病床数：(64) 床
- ・疾患別入院数・外来数（年間）

疾患	外来患者数	入院患者数
F0	42	46
F1	9	9
F2	358	145
F3	561	90
F4	238	53
F5	37	31
F6	36	21
F7	14	5
F8	170	2
F9	92	10

- ・施設としての特徴（扱う疾患の特徴等）

当院は825床を有する大規模な病院であり、精神科も64床という大学病院としては最大規模の病棟を有している。高度専門医療機関として、主に難治性の症例を中心に統合失調症（F2）、気分障害（F3）、神経症性障害（F4）などの治療にあたっている。また思春期症例、認知症、身体合併症治療、リエゾン・コンサルテーションなど精神科臨床を幅広く経験できることも特徴である。精神療法の習得にも力を注いでおり、認知行動療法、精神分析・精神力動のカンファレンス、セミナーを定期的開催している。

B 研修連携施設

① 施設名：一般財団法人新潟県地域医療推進機構 魚沼基幹病院

- ・施設形態：公的総合病院
- ・院長名：内山 聖
- ・指導責任者氏名：湯川尊行
- ・指導医人数：(2) 人

- ・精神科病床数：(50) 床
- ・疾患別入院数・外来数（新潟県立小出病院精神神経科 2014. 4～2015. 3 月）

疾患	外来患者数	入院患者数
F0	79	8
F1	52	1
F2	787	39
F3	624	19
F4	454	9
F5	11	0
F6	121	0
F7	49	0
F8	77	1
F9	0	0

- ・施設としての特徴（扱う疾患の特徴等）

当院は、新潟県魚沼地域の医療再編に伴って新潟県が設置し、一般財団法人新潟県地域医療推進機構が運営する病院であり、2015年6月に開院した。地域の中核病院として、救急医療や高度医療を中心とした役割を担うとともに、当院に設置された新潟大学医歯学総合病院魚沼地域医療教育センターと連携し、地域医療に貢献する医療人の育成にも力を注いでいる。許可病床454床のうち精神科病棟は50床を有しており、総合病院精神科として精神疾患と身体疾患の治療が同時に必要な患者の受け入れや修正型電気けいれん療法を積極的に行っている。また、精神科救急、コンサルテーション・リエゾン、精神科デイケアなど幅広い精神科臨床の経験を積むことができる。

② 施設名：新潟県立精神医療センター

- ・施設形態：公的単科精神科病院
- ・院長名：細木 俊宏
- ・指導責任者氏名：小野 信
- ・指導医人数：(4) 人
- ・精神科病床数：(246) 床
- ・疾患別入院数・外来数（年間）

疾患	外来患者数	入院患者数
F0	13	5
F1	15	2
F2	728	126
F3	373	44
F4	121	10
F5	17	2
F6	63	5
F7	69	12
F8	215	48
F9	65	17

・施設としての特徴（扱う疾患の特徴等）

新潟県の公的単科精神科病院であり、46床の精神科救急病棟、40床の児童精神科病棟を有する中核的病院である。新潟県精神科救急情報センター、精神科相談窓口も併設されており、精神科救急症例に加え、応急入院、措置入院など幅広く症例を経験できる。また、治療抵抗性統合失調症に対するクロザピンの登録医療機関であり、習得すべき薬物療法の基礎から難治例に対する薬物療法まで一貫した研修が可能である。精神鑑定も含め司法精神医学にも取り組んでいる。児童精神科では、注意欠如多動症、自閉スペクトラム症などの発達障害、被虐待児、トラウマ関連障害など、子どもの心の問題に関する症例を経験できる。

③ 施設名：医療法人恵生会 南浜病院

・施設形態：単科精神科病院

・院長名：金子尚史

・指導責任者氏名：川嶋 義章

・指導医人数：（ 5 ）人

・精神科病床数：（ 285 ）床

・疾患別入院数・外来数（年間）

疾患	外来患者数	入院患者数
F0	55	20
F1	16	10

F2	524	129
F3	538	155
F4	172	18
F5	17	3
F6	30	9
F7	29	7
F8	20	7
F9	119	8

・施設としての特徴（扱う疾患の特徴等）

当院は、平成 28 年度よりスーパー救急を開始し、新潟県北圏域の精神科救急基幹病院として位置づけられており、休日 16 日、夜間 156 日の救急を担い、精神科救急症例に加え、年間 20 件近い措置入院など幅広く症例を経験できる。

デイケア、生活訓練施設、福祉ホーム、共同住居も有しており、統合失調症、気分障害をはじめとする重度障害に対する急性期の危機介入から社会復帰まで、医療と福祉の基本と実践を広く体験できる。また、心理教育を中心にすえて、看護師、心理士、精神保健福祉士、作業療法士、薬剤師などのチームアプローチを実践しており、チーム医療の重要性を体験できる。当院は措置入院指定病院、応急入院指定病院、医療観察法通院医療機関指定病院でもある。さらに地域移行支援事業、保健所・精神保健福祉センターの相談事業に協力しており、精神医療・保健・福祉を幅広く経験できる。

④ 施設名：医療法人崇徳会 田宮病院

・施設形態：単科精神科病院

・院長名：渡部 和成

・指導責任者氏名：丸山 直樹

・指導医人数：（ 4 ）人

・精神科病床数：（ 422 ）床

・疾患別入院数・外来数（年間）

疾患	外来患者数	入院患者数
F0	71	237
F1	0	11
F2	410	338

F3	407	150
F4	118	33
F5	12	22
F6	7	5
F7	82	17
F8	30	4
F9	19	1

・施設としての特徴（扱う疾患の特徴等）

当院は、精神科 422 床、療養病棟 60 床の計 482 床を有する単科精神科病院である。平成 27 年度よりスーパー救急を開始し、新潟県南圏域の精神科救急基幹病院として位置づけられている。急性期からの人間的治療と計画的治療を病院のモットーとして掲げており、クリニカルパスに基づく多職種によるチーム医療を活発に行っている。したがって多彩な精神疾患を入院および通院治療で診ることができ、精神科救急における薬物治療から患者の社会復帰支援における心理社会療法までの一貫した診療を経験することができる。

⑤ 施設名：医療法人恵松会 河渡病院

- ・施設形態：単科精神科病院
- ・院長名：若穂 徹
- ・指導責任者氏名：西田 牧衛
- ・指導医人数：（ 5 ）人
- ・精神科病床数：（ 443 ）床
- ・疾患別入院数・外来数（年間）

疾患	外来患者数	入院患者数
F0	72	56
F1	424	154
F2	651	350
F3	440	123
F4	258	25
F5	17	1
F6	33	8

F7	33	38
F8	15	1
F9	4	0

・施設としての特徴（扱う疾患の特徴等）

当院は、医療法人として55年の歴史を持つ、入院許可病床数443床の単科精神科病院であり、幅広く精神科臨床を学ぶことができる。更に当院はアルコール依存症の治療に約50年に亘って継続して取り組んできた県内唯一の病院であり、アルコール精神科医療については地域に大きな責任を担う立場にある。その医療の内容と地域での関わりの様子を専攻医にきちんと伝える使命を担っていると考えている。外来治療、入院治療の何れも可能であるが、合併症や膨大な関連問題の対応のために後者にウエイトを置いている。豊富な症例数、独自の治療プログラムを持ち、日課・週間・月間計画、退院後の計画が組まれている。アルコール関連問題の内容によっては対応に差がありうるが、精神科医師、内科医師、看護師、精神科ソーシャルワーカー、作業療法士、臨床心理士、薬剤師、栄養士など多職種が連携して関わることになる。依存症者本人は勿論のこと、家族にも理解と意識・行動の変革を求めるためのプログラム、先輩断酒者との接触を図るプログラム（OBゼミナール（週1回）、月例断酒研修大会（延べ526回）、OBの集い（年1回、延べ29回）、家族教室（週1回、など）を揃え、更に地域の断酒自助グループとの固い協力関係の維持、断酒治療を受けた方々の記録「反省と道」の定期刊行（延べ398号）などにも努めている。他の病院では経験できないような特色ある研修を確かに提供できると考えている。また、精神科救急輪番システム等による救急入院や措置入院の研修も可能である。看護師、精神保健福祉士、作業療法士、臨床心理士、薬剤師、管理栄養士など多職種、多数との共同作業で入院、退院の代謝は活発で、いわゆるニューロングステイは皆無に等しい。それには訪問看護や当院が併設したデイケア、福祉ホーム、障害福祉サービス事業所、老人保健施設などが一役を担っており、それらを学ぶこともできる。

⑥ 施設名：特定医療法人楽山会 三島病院

- ・施設形態：単科精神科病院
- ・院長名：田中 弘
- ・指導責任者氏名： 田中 弘
- ・指導医人数：（ 4 ）人
- ・精神科病床数：（ 282 ）床
- ・疾患別入院数・外来数（年間）

疾患	外来患者数	入院患者数
F0	1427	494
F1	0	0
F2	71	33
F3	207	41
F4	0	0
F5	0	0
F6	3	2
F7	0	0
F8	0	0
F9	0	0

・施設としての特徴（扱う疾患の特徴等）

精神科単科専門病院に認知症疾患医療センターを併設しているため、高齢者の精神障害の専門医療機関という特徴を持ち、新潟県の認知症診療の中核を担っている。認知症を専門とする医師・心理士・看護師・作業療法士・言語療法士・精神保健福祉士等から成るチーム診療により包括的な医療を行っている。頭部MRIやCTによる画像診断や神経心理学的検査バッテリーなど認知症の鑑別診断に必要なツールも充実している。また、多くの神経変性疾患の剖検を行い、新潟大学脳研究所と合同で行う臨床・病理検討会にも定期的に参加している実績がある。専攻医は認知症疾患医療センターおよび一般精神科で実地診療を学ぶが、関連施設（老人保健施設、重度認知症デイケア、特別養護老人ホームなど）における診療も経験することができる。

⑦ 施設名：医療法人水明会 佐潟荘

・施設形態：単科精神科病院

・院長名：北村 秀明

・指導責任者氏名：北村 秀明

・指導医人数：（ 3 ）人

・精神科病床数：（ 240 ）床

・疾患別入院数・外来数（年間）

疾患	外来患者数	入院患者数
F0	13	4
F1	46	5

F2	470	299
F3	492	104
F4	278	22
F5	15	2
F6	24	3
F7	34	3
F8	65	15
F9	10	0

・施設としての特徴（扱う疾患の特徴等）

当院は、基幹施設である新潟大学医歯学総合病院と同様に、DSM-5 による操作的診断を採用している。心理士による心理査定を積極的に採用して。症例の定式化を行い、毎週行われる症例検討会・勉強会において検討し、診断・治療技術の研鑽に努めている。

専門外来として思春期外来と物忘れ外来を設けており、前者では神経発達障害や引きこもり、虐待経験症例などを、後者では軽度認知障害、認知症を含む高齢者の精神疾患を扱っている。その他、ナルコレプシーなど各種睡眠覚醒障害にも力を入れ、西新潟中央病院と連携して診療に当たっている。リハビリテーション部にはデイケアセンターと作業療法室が、福祉サービス事業として地域活動支援センターとグループホームを有しており、患者の社会復帰を活発に支援している。

2. 研修プログラム

1) 全体的なプログラム

専攻医は精神科領域専門医制度の研修手帳にしたがって専門知識を習得する。研修期間中に以下の領域の知識を広く学ぶ必要がある。

1. 患者及び家族との面接
2. 疾患概念の病態の理解
3. 診断と治療計画
4. 補助検査法
5. 薬物・身体療法
6. 精神療法
7. 心理社会的療法など
8. 精神科救急
9. リエゾン・コンサルテーション精神医学
10. 法と精神医学
11. 老年精神医学
12. 医の倫理
13. 安全管理

14. 児童・思春期精神医学

15. 嗜癖

各年次における到達目標は以下の通りである。

到達目標

1年目：基幹施設または連携施設において、指導医と共に統合失調症、気分障害、器質性精神障害などの患者を受け持ち、面接の仕方、診断と治療計画、薬物療法及び精神療法の基本を学ぶ。リエゾン精神医学についても経験する。とくに面接によって情報を抽出し診断に結びつける能力、良好な治療関係を構築し維持する技術を重点的に学ぶ。併せて精神療法の習得を目指したカンファレンス、セミナーにも定期的に参加する。地方研究会および学会での発表・討論を経験する。

2年目：基幹施設または連携施設で、指導医の指導を受けつつ、自立して面接技術を深め、診断および治療計画の能力を充実させ、薬物療法の技法を向上させ、精神療法として認知行動療法と力動的な精神療法の基本的考え方と技法を学ぶ。精神科救急に従事して対応の仕方を学ぶ。神経症性障害および種々の依存症患者の診断・治療を経験する。ひきつづき精神療法の修練を行う。地方または全国規模の学会で発表・討論する。

3年目：指導医から自立して診療できるようにする。連携施設はより幅広い選択肢の中から専攻医の志向を考慮して選択する。認知行動療法や力動的な精神療法を上級者の指導の下に実践する。心理社会的療法、精神科リハビリテーション、地域精神医療等を学ぶ。児童・思春期精神障害およびパーソナリティ障害の診断・治療を経験する。全国規模の学会・研究会などで積極的に発表・討論する。

2) 個別項目について

① 倫理性・社会性

基幹施設において他科の専攻医とともに研修会が実施される。コンサルテーションリエゾンを通して身体科との連携を持つことによって医師としての責任や社会性、倫理観などについても多くの上級医や他の医療スタッフからも学ぶ機会を得ることができる。

② 学問的姿勢

すべての研修期間を通じて与えられた症例を院内の症例検討会で発表するこ

とを基本とし、その過程で過去の類似症例を文献的に調査するなどの姿勢を心がける。その中で特に興味ある症例については、地方会等での発表や学術誌などへの投稿を進める。

③ コアコンピテンシーの習得

研修期間を通じ、

- a. 患者関係の構築
- b. チーム医療の実践
- c. 安全管理
- d. 症例プレゼンテーション技術
- e. 医療における社会的・組織的・倫理的側面の理解

を到達目標とし、医師としてのコアコンピテンシーの習得を目指す。さらに精神科診断面接、精神療法、精神科薬物療法、リエゾン・コンサルテーションといった精神科医特有のコンピテンシーの獲得を目指す。

④ 学術活動（学会発表、論文の執筆等）

基幹施設において臨床研究、基礎研究に従事しその成果を学会や論文として発表する。

3) ローテーションモデル

典型的には1年目に基幹施設Aをローテートし、精神科医としての基本的な知識を身につける。2～3年目で1年間公的総合病院精神科（B①③）、もしくは公的単科精神科病院（B②）をローテートする。残りの1年は選択により、基幹施設Aもしくは単科精神科病院（B④～⑧）をローテートすることとし、各施設での研修期間は3～12ヶ月で複数施設を希望できる。基幹施設では身体合併症治療、難治・急性期症例、児童症例、認知症症例を幅広く経験し、精神療法、薬物療法を主体とする治療手技、生物学的検査・心理検査などの検査手法、精神保健福祉法や社会資源についての知識と技術を深めていく。これら3年間のローテート順については、本人の希望に応じて柔軟な対応が可能である。主なローテーションパターンについて、別紙1に示す。

4) 研修の週間・年間計画

別紙2を参照。

3. プログラム管理体制について

・プログラム管理委員会

- 委員長 医師 染矢 俊幸
- 医師：湯川 尊行

- 医師：小野 信
- 医師：川嶋 義章
- 医師：渡部 和成
- 医師：若穂 徹
- 医師：北村 秀明
- 医師：田中 弘
- 看護師：石井 幸広
- 心理士：國塚 拓郎

- ・プログラム統括責任者
染矢 俊幸

- ・連携施設における委員会組織
各連携病院の指導責任者および実務担当の指導医によって構成される。

4. 評価について

1) 評価体制

新潟大学医歯学総合病院：染矢 俊幸
魚沼基幹病院：湯川 尊行
新潟県立精神医療センター：小野 信
南浜病院：川嶋 義章
田宮病院：丸山 直樹
河渡病院：西田 牧衛
三島病院：田中 弘
佐潟荘：北村 秀明

2) 評価時期と評価方法

全体として評価は各施設で行うとともに研修プログラム管理委員会が評価を行い必要に応じてフィードバックを行う。具体的には以下の通り。

- ・ 3 か月ごとに、カリキュラムに基づいたプログラムの進行状況を専攻医と指導医が確認し、その後の研修方法を定め、研修プログラム管理委員会に提出する。必要に応じて研修プログラム管理委員会よりフィードバックを行い、研修の施設間格差が生じないようにする。
- ・ 研修目標の達成度を、当該研修施設の指導責任者と専攻医がそれぞれ 6 ヶ月ごとに評価し、フィードバックする。内容を研修プログラム管理委員会に報告する。
- ・ 1 年後に 1 年間のプログラムの進行状況並びに研修目標の達成度を指導責任者が確認し、次年度の研修計画を作成する。またその結果を統括責任者に提出す

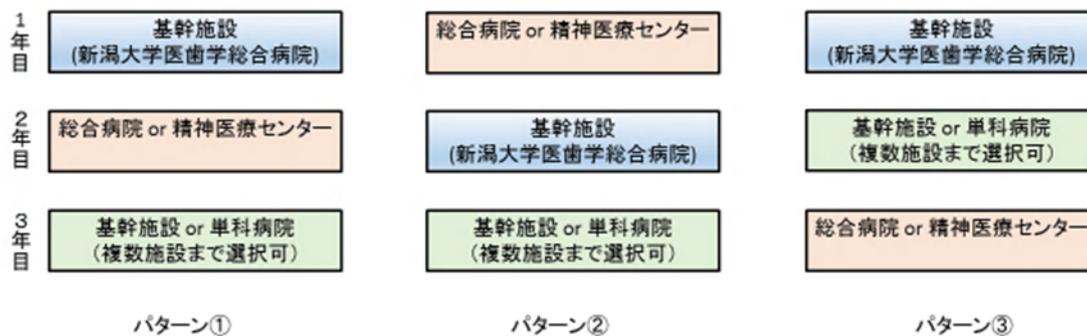
る。また、内容を研修プログラム管理委員会に報告する。

- ・その際の専攻医の研修実績および評価には研修記録簿／システムを用いる。

5. 全体の管理運営体制

- 1) 専攻医の就業環境の整備（労務管理）
各施設の労務管理基準に準拠する。
- 2) 専攻医の心身の健康管理
各施設の健康管理基準に準拠する。
- 3) プログラムの改善・改良
基幹病院の統括責任者と連携施設の指導責任者による委員会にて定期的にプログラム内容について討議し、継続的な改良を実施する。
- 4) 教育推進活動の計画・実施
年1回、プログラム管理委員会が主導し各施設における研修状況を評価する。

別紙1. 主なローテーションパターン



- ✓ 1、2年目は基本的に基幹病院か総合病院で1年間ずつ研修する
- ✓ 3年目は基幹施設または単科病院の中から選択し、3～12ヶ月単位で複数施設での研修が可能

週間スケジュール

研修基幹施設

新潟大学医歯学総合病院

	月曜	火曜	水曜	木曜	金曜
8:30-9:00	カンファレンス	カンファレンス	カンファレンス	カンファレンス	カンファレンス
9:00-12:00	外来予診	症例検討会 教授回診	外来予診	外来予診	外来予診
13:00-17:00	病棟業務	病棟業務	病棟業務	グループ回診 カンファレンス	病棟業務
17:00-18:10		研修医セミナー			

*週40時間を超える研修については任意参加

研修連携施設

① 一般財団法人新潟県地域医療推進機構 魚沼基幹病院

	月曜	火曜	水曜	木曜	金曜
8:30-9:00	カンファレンス	カンファレンス	カンファレンス	カンファレンス	カンファレンス
9:00-12:00	外来予診	デイケア	外来予診	訪問看護	外来予診
13:00-17:15	病棟業務	病棟業務	病棟業務	回診・ カンファレンス	病棟業務

*週40時間を超える研修については任意参加

② 新潟県立精神医療センター

	月曜	火曜	水曜	木曜	金曜
8:30-9:00	セクション連絡会	カンファレンス	カンファレンス	セクション連絡会	カンファレンス

9:00-12:00	外来業務	救急当番 作業療法	外来業務	院内各種委員会	病棟業務
13:30-16:00	病棟業務 デイケア	病棟業務	病棟業務	画像検討会 医局会 新入院検討会 症例検討会 脳波検討会	リエゾン外来 (総合病院への助 勤)
16:00-17:10		抄読会	教育回診		
17:10-18:30			職員研修		

*週40時間を超える研修については任意参加

③ 医療法人恵生会 南浜病院

	月曜	火曜	水曜	木曜	金曜
9:00-9:15	ミーティング	ミーティング	ミーティング	ミーティング	ミーティング
9:30-10:00			院長回診		外来再来
10:00-11:30	新患予診			新患予診	
11:30-12:00	指導医診察			指導医診察	
13:30-16:00	入院患者診察	外来再来	入院患者診察	心理教育グルー プ or SSTグループ	入院患者診察
16:00-16:30					
16:30-17:00	診療会議(2回/ 月)				
17:00~		クルズス 17:20~18:20 (2回/月)	当直業務 (1回/週)	イブニングスタディ(病院全体の勉 強会) 17:15~19:00 拡大ケース検討会 (各1回/2ヶ月)	

*週40時間を超える研修については任意参加

④ 医療法人崇徳会 田宮病院

	月曜	火曜	水曜	木曜	金曜
8:30~8:40	カンファレンス	カンファレンス	カンファレンス	カンファレンス	カンファレンス

8:40~12:00	外来業務	病棟業務	病棟業務	外来業務	外来業務
13:30~16:00	病棟業務	デイケア業務	統合失調症 心理教育 プログラム 業務	病棟業務 (16:00~ ペットコントロール会 議)	病棟業務
その他	医局会議 (月1回) 症例検討会 (2ヶ月に1回)		院長回診		

*週40時間を超える研修については任意参加

⑤ 医療法人恵松会 河渡病院

	月曜	火曜	水曜	木曜	金曜	土曜
8:45-9:00	ミーティング	ミーティング	ミーティング	ミーティング	ミーティング	
9:00-12:00	外来・病棟業務 新入院カンファ レンス	外来・病棟業 務	外来・病棟業 務	外来・病棟業 務	外来・病棟業務 新入院カンファ レンス	
13:30-16:00	外来・病棟業務 *1 診療部会 議 *2 医局会議 *2 症例検討 会・ 抄読会	アルコール病 棟 酒歴発表 決意発表	外来病棟業務 自己学習	外来・病棟業 務	アルコール病棟 院内学習会	アルコール 病棟 OBゼミ
16:00-17:10		病棟業務			病棟業務	
17:10-18:30			*3 職員研修			

*週40時間を超える研修については任意参加

⑥ 特定医療法人楽山会 三島病院

	月曜	火曜	水曜	木曜	金曜
8:30～9:00	外来予診	外来予診 月1回医局会	外来予診	外来予診	外来予診
9:00～12:00	外来予診 病棟業務	外来予診 病棟業務	外来予診 病棟業務	外来予診 病棟業務	病棟業務
13:00～16:00	病棟業務	病棟業務	症例検討会 (外来)	入退院 カンファレンス	病棟業務
16:00～17:00	病棟業務	クルズス	脳波検討会	症例検討会 (入院)	クルズス

*週 40 時間を超える研修については任意参加

⑦ 医療法人水明会 佐瀉荘

	月曜	火曜	水曜	木曜	金曜
8:30～9:00	当直報告・連絡	当直報告・連絡	当直報告・連絡	当直報告・連絡	当直報告・連絡
9:00～12:00	病棟業務 外来業務	院長回診	病棟業務 外来業務	病棟業務 外来業務	病棟業務 外来業務
13:00～17:00	病棟業務	病棟業務 病棟検討会	病棟業務	病棟業務	病棟業務
17:00～17:30	医局会				
17:30～19:00	症例検討会 抄読会		身体合併症 検討会	画像検討会	脳波検討会

*週 40 時間を超える研修については任意参加

年間スケジュール

研修基幹施設

新潟大学医歯学総合病院

4月	オリエンテーション 指導医の指導実績報告提出
5月	新潟臨床精神薬理フォーラムに参加
6月	日本精神神経学会学術総会に参加し学術発表
7月	新潟気分障害研究会に参加 新潟こころの発達医学セミナーに参加
8月	
9月	
10月	新潟精神医学会に参加
11月	新潟不安抑うつ研究会に参加
12月	
1月	新潟統合失調症研究会に参加
2月	新潟総合病院精神医学研究会に参加
3月	新潟認知症懇話会に参加 研修プログラム評価報告書の作成
その他	

研修連携施設

(ア) 一般財団法人新潟県地域医療推進機構 魚沼基幹病院

4月	オリエンテーション
5月	新潟臨床精神薬理フォーラムに参加
6月	日本精神神経学会学術総会に参加
7月	新潟気分障害研究会に参加 新潟こころの発達医学セミナーに参加
8月	
9月	
10月	新潟精神医学会に参加
11月	新潟不安抑うつ研究会に参加
12月	
1月	新潟統合失調症研究会に参加
2月	新潟総合病院精神医学研究会に参加・演題発表
3月	新潟認知症懇話会に参加 研修プログラム評価報告書の作成
その他	

(イ) 新潟県立精神医療センター

4月	新入局員・研修医オリエンテーション CVPPP（包括的暴力防止プログラム）研修
5月	
6月	△日本小児精神神経学会参加
7月	BLS 講習会
8月	
9月	CVPPP（包括的暴力防止プログラム）研修

10月	刑事精神鑑定勉強会 △日本児童青年精神医学会参加 新潟精神医学会参加・演題発表
11月	アルコール依存症臨床医等研修
12月	
1月	
2月	刑事精神鑑定症例検討会 BLS講習会
3月	研修プログラム評価報告書作成

△児童精神科研修コースのみ

その他	院内診療運営会議（1回/月） 統合失調症家族会（4回/年） 長岡市地域救急懇談会（6回/年） クロザピン適正使用委員会（1回/月）
-----	--

(ウ) 医療法人恵生会 南浜病院

4月	オリエンテーション イブニングスタディ
5月	日本精神神経学会学術総会に参加 新潟リハビリテーション研究会春期研修会 新潟臨床精神薬理フォーラムに参加 イブニングスタディ（院内研究発表会） 拡大ケース検討会**
6月	チーム医療を考える会に参加（南浜・松浜・河渡病院合同勉強会）
7月	標準版家族心理教育リーダー研修会に参加 新潟気分障害研究会に参加 イブニングスタディ
8月	拡大ケース検討会
9月	病院祭 イブニングスタディ
10月	新潟精神医学会に参加

	新潟リハビリテーション研究会秋期研修会に参加 千秋島見勉強会に参加（南浜・田宮病院合同勉強会） イブニングスタディ
11月	新潟不安抑うつ研究会に参加 SSTリーダー養成研修 イブニングスタディ
12月	拡大ケース検討会
1月	新潟統合失調症研究会に参加 イブニングスタディ
2月	新潟総合病院精神医学研究会に参加 イブニングスタディ
3月	新潟認知症懇話会に参加 心理教育・家族教育ネットワーク研究集会に参加 イブニングスタディ 研修プログラム評価報告書作成
その他	統合失調症家族教室（教育セッションにおける講師も含む）

(エ) 医療法人崇徳会 田宮病院

4月	オリエンテーション
5月	新潟臨床精神薬理フォーラムに参加
6月	日本精神神経学会学術総会に参加 新潟精神医学懇話会に参加
7月	新潟気分障害研究会に参加
8月	
9月	新潟県精神科集談会に参加
10月	新潟精神医学会に参加・演題発表
11月	新潟不安抑うつ研究会に参加
12月	日本精神科救急学会に参加
1月	新潟統合失調症研究会に参加
2月	新潟総合病院精神医学研究会に参加
3月	新潟認知症懇話会に参加 研修プログラム評価報告書作成
その他	

(オ) 医療法人恵松会 河渡病院

4月	オリエンテーション
5月	新潟臨床精神薬理フォーラムに参加
6月	日本精神神経学会学術総会に参加 新潟精神医学懇話会に参加 アルコール病棟OBの集いに参加
7月	新潟気分障害研究会に参加
8月	
9月	新潟市3病院「チーム医療を考える会」に参加
10月	新潟精神医学会に参加・演題発表
11月	アルコール関連問題学会に参加 新潟不安抑うつ研究会に参加
12月	
1月	新潟統合失調症研究会に参加
2月	院内看護研究発表会に参加 新潟総合病院精神医学研究会に参加
3月	研修プログラム評価報告書の作成 新潟認知症懇話会に参加
その他	<ol style="list-style-type: none"> 1. 河渡病院月例研修大会に参加（6月を除く月の第3日曜 13:00～） 2. 新潟県内の断酒自助グループの大会に参加（1～2回） 3. 院内職員研修会に出席（毎月約1回、17:10～） 4. 新潟市内で開催される精神科研究会に参加（毎月1回以上、夜間） 5. 専攻医が希望する学会や研究会に参加も許される。

(カ) 特定医療法人楽山会 三島病院

4月	オリエンテーション
5月	新潟臨床精神薬理フォーラムに参加
6月	日本精神神経学会学術総会に参加 日本老年精神医学会に参加 新潟精神医学懇話会に参加
7月	新潟気分障害研究会に参加
8月	
9月	
10月	日本認知症学会に参加 新潟精神医学会に参加・演題発表

11月	新潟不安抑うつ研究会に参加
12月	
1月	新潟統合失調症研究会に参加
2月	新潟総合病院精神医学研究会に参加
3月	新潟認知症懇話会に参加 研修プログラム評価報告書作成
その他	

(キ) 医療法人水明会 佐潟荘

4月	院内オリエンテーション
5月	特論（操作的診断と面接法、心理測定学、神経画像・生理、精神神経薬理学） 新潟臨床精神薬理フォーラムに参加
6月	日本精神神経学会学術総会集会に参加 新潟精神医学懇話会に参加
7月	新潟気分障害研究会に参加
8月	
9月	
10月	新潟精神医学会に参加・演題発表
11月	日本精神科診断学会に参加 新潟不安抑うつ研究会に参加
12月	
1月	新潟統合失調症研究会に参加
2月	新潟総合病院精神医学研究会に参加
3月	新潟認知症懇話会に参加 研修プログラム評価報告書作成
その他	